

## 利用者が元気になる、二つの気配り

代表 秋吉ふさよ

暑中お見舞い申し上げます。

「まごころ」も今年の九月で五年目になります。

「愛と笑いと真心」をモットーに

そころ

「小さくても深みのある施設、

関わる皆様が安心できる施設にしたい。」

という想いが、少しずつルールが敷かれてきている

感じています。



さて、私たちが常に心がけたいと思っている事を

二つ記します。それは

一、二十名の利用者が、一日、誰とも

言葉を交わさなかった、という

ことがないこと。笑わない日がない

ようにと取組む。

二、残存機能を引き出し、日常生活

動作、自分のことが自分で行え

るようになるよう継続支援する。



この二点に取り組むだけでも、利用者様の状態は大きく改善されてきます。

一つ目は、心の気配り

二つ目は、体の気配りと分類しても良いかもしれませぬ。

当施設の様々な行事も、

この二点を常に意識し

てバランスよく企画するように心がけています。

その結果、

要介護4の方が、要支援2に、要介護2の方が、

要支援1に、と改善され、利用者自身が

「ここは自分の居場所ではない、家に戻って仕事ができる」と、口にするようになったケースもありました。

また、車イスの方が、脱走して別府署まで行った事もあり、今では笑い話ですが、自分が元気になったので、一人で暮らせると思い込んでの行動

でした。

改善されて元気になった後の受け皿は、今後の課題ですが、一日でも永く元気で、過ごして頂ける

ように、この二点を常に念頭に

「愛と笑いと真心」溢れる施設

を目指していきたいと思えます。

今後とも、よろしくお願い致します。



まごころ  
ホームページ



[http://www.](http://www.bepu-magokoro.com)

[bepu-magokoro.com](http://www.bepu-magokoro.com)



スクリーンに映し出された映像は、フランスの国際画家・マークエステル氏の作品。映像を見ながらの朗読会でした。



古事記  
朗読



青や赤で描かれた神々の映像を見ながら、語部(かたりべ)森北実さんの朗読を聞きました。日本神話『古事記』天地創造のお話は、少し難しのでしょうか？  
と思っていました。涙を流す方もいて、皆さん熱心に聞き入っていました。

文：藤松

